

注 意 報

農技セ第5513号
令和3年10月8日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

令和3年度農作物病虫害発生予察情報について

令和3年度農作物病虫害発生予察注意報第3号を發表したので送付します。

令和3年度病虫害発生予察注意報第3号

令和3年10月8日
徳 島 県

果樹カメムシ類について、上板町及び勝浦町での9月第6半旬から10月第1半旬の予察灯調査では、誘殺数が平年に比べて多く推移し、収穫期の温州ミカンやカキに被害が発生した平成28年の誘殺状況に類似している。また、向こう1か月の平均気温は平年より高くなると見込まれるため、今後も被害の拡大が懸念されますので、注意報を發令します。

栽培現地においては発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

農 物 名：果樹全般（特に、カンキツ類、カキ、キウイフルーツ）

病虫害名：果樹カメムシ類（主に、ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ）

1. 発生地域 県内全域
2. 発生時期 10月上旬～
3. 発生程度 多(前年より多く、平年より多い)

4. 注意報發令の根拠

- (1) 予察灯における9月第6半旬～10月第1半旬（9月26日～10月5日）の果樹カメムシ類の誘殺数は、勝浦町では903頭で、平年（583頭）及び前年（78頭）に比べて多く、上板町では1,574頭で、平年（154頭）及び前年（9頭）に比べて極めて多い(表1、図1)。
- (2) 10月7日に行った圃場調査では、県南部の温州ミカン園や県北部のカキ園で、果樹カメムシ類の飛来が確認され、被害が認められている(図3)。
- (3) 高松地方气象台が10月7日に發表した1か月予報では、気温は高く、降水量はほぼ平年並で、特に期間の前半は気温がかなり高いと予想されており、発生助長的な気象条件である。

5. 防除法等

- (1) 果樹園周辺の山林や雑木林から成虫が飛来してくるので、園内を巡回し、飛来を確認したら早急に防除を行う。
- (2) 移動性が大きいので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。
- (3) 飛来数が多い場合は、継続的な防除が必要であるが、薬剤の影響でハダニ類が増加する場合があるので、ハダニ類の発生にも十分注意する。
- (4) 防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

表1 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数

月	半旬	上板町			勝浦町		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年
8	1	32	28	35	123	20	232
	2	186	53	60	105	41	267
	3	154	37	79	180	78	313
	4	265	23	66	269	94	329
	5	453	47	86	38	74	298
	6	776	58	93	302	82	256
9	1	253	54	68	151	17	158
	2	338	74	62	158	29	235
	3	195	53	51	105	39	213
	4	1135	36	18	194	77	158
	5	867	19	32	404	57	284
	6	1038	4	66	343	20	285
10	1	536	5	88	560	58	298
	2		13	42		9	449

誘殺数はツヤアオカメムシ，チャバネアオカメムシ及びクサギカメムシの合計値。

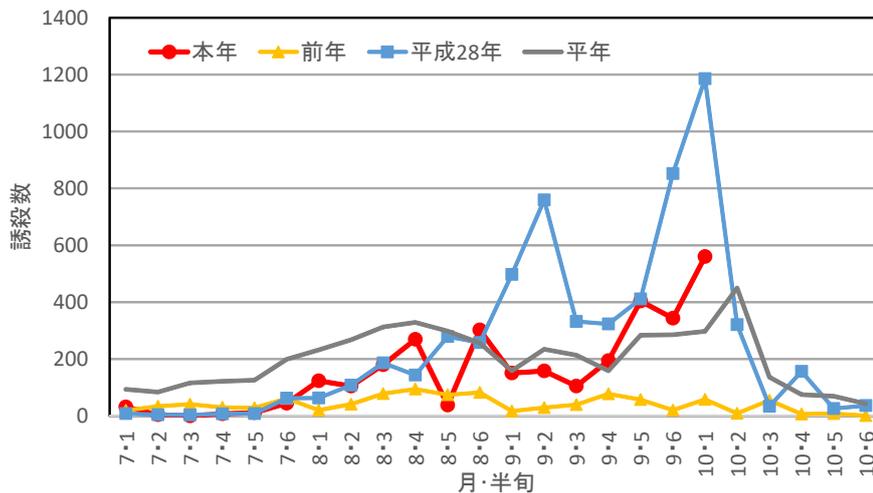


図1 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺消長(勝浦町)

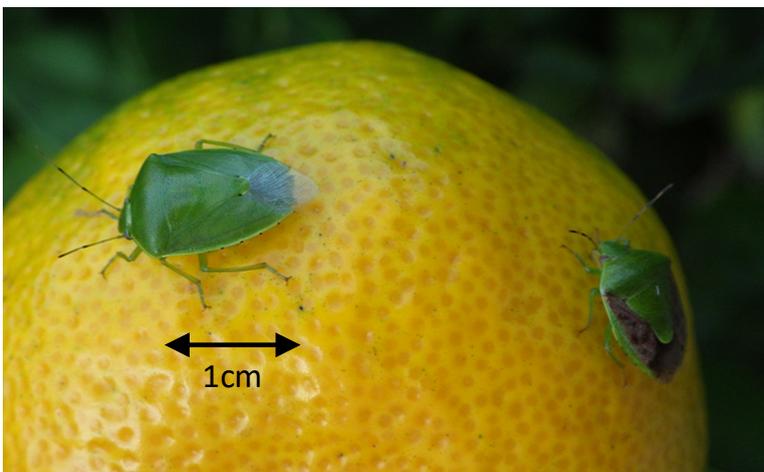


図2 ツヤアオカメムシ(左) とチャバネアオカメムシ(右)



図3 カキの被害果実

表2 果樹カメムシ類に使用できる主な薬剤（令和3年10月7日現在）

適用作物名	農薬の名称	希釈倍数	使用時期	使用方法	本剤使用回数	I R A Cコード
かんきつ	MR. ジョーカー水和剤	2000倍	収穫14日前まで	散布	2回以内	3A
	アディオン乳剤	2000倍	収穫14日前まで	散布	6回以内	3A
	アグロスリン乳剤	1000～2000倍	収穫7日前まで	散布	3回以内	3A
	ロディー乳剤	2000倍	収穫7日前まで	散布	4回以内	3A
	テルスター水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	散布	3回以内	3A
	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	収穫14日前まで	散布	3回以内	4A
	アドマイヤーフロアブル	2000～5000倍	収穫14日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	散布	3回以内	4A
	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	散布	3回以内	4A
	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	散布	3回以内	4A
	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	散布	3回以内	4A
	かき	MR. ジョーカー水和剤	2000倍	収穫14日前まで	散布	2回以内
アグロスリン水和剤		1000～2000倍	収穫前日まで	散布	3回以内	3A
テルスター水和剤		1000～2000倍	収穫14日前まで	散布	2回以内	3A
アクタラ顆粒水溶剤		2000倍	収穫3日前まで	散布	3回以内	4A
アドマイヤー顆粒水和剤		5000～10000倍	収穫7日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	散布	3回以内	4A
スタークル顆粒水溶剤		2000倍	収穫前日まで	散布	3回以内	4A
アルバリン顆粒水溶剤		2000倍	収穫前日まで	散布	3回以内	4A
モスピラン顆粒水溶剤		2000～4000倍	収穫前日まで	散布	3回以内	4A
キックオフ顆粒水和剤		2000倍	収穫前日まで	散布	3回以内	2B・4A
キラップJ水和剤		2000～4000倍	収穫14日前まで	散布	2回以内	2B・3A
キラップフロアブル		2000倍	収穫7日前まで	散布	2回以内	2B
パーマチオン水和剤		1000～2000倍	収穫30日前まで	散布	3回以内	1B・3A
スミチオン水和剤40		800～1000倍	収穫30日前まで	散布	3回以内	1B
キウイ フルーツ	アディオン乳剤	2000倍	収穫7日前まで	散布	5回以内	3A
	テルスターフロアブル	3000倍	収穫前日まで	散布	2回以内	3A
	アドマイヤーフロアブル	2000倍	収穫前日まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	散布	2回以内	4A
	アルバリン顆粒水溶剤	1000～2000倍	収穫前日まで	散布	3回以内	4A
	スタークル顆粒水溶剤	1000～2000倍	収穫前日まで	散布	3回以内	4A
	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	散布	3回以内	4A